

---

# 神々の息抜き大会【大改修】

陣内道秀

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

神々の息抜き大会【大改修】

### 【Nコード】

N9701W

### 【作者名】

陣内道秀

### 【あらすじ】

いきなり目が覚めたら人魂？？親友達と神様のばかげていて面白そうなゲームに参加！！いったいどうなるこれから？？無理矢理系体感型ゲームの開始！！  
復活しました。二日に一回は更新します。

## プロローグ（前書き）

改修番開始します。

## プロローグ

ここは日本・東京都にある電車の高架下にある六畳一間のボロ屋。都内にしては安いこの住処に三人の青年が集まって騒いでいた。

「はははははは……」

この笑っている青年は八幡はちまん 越道こみちという都内の国立医大に在籍している偉大性でありこの部屋の主でもある。

「………眠い。」

こちらの鋭意な目をした町を歩くとスカウトが絶えない美青年は越道の幼馴染兼悪友兼知恵袋の関係で名前を大上おおがみ 北斗ほくとという、こちらと同じ大学の経済学部にいる。歩いて数分ほどのアパートに住んでいるが毎日食事と称してたかりに来ている。いまも勝手に布団を出して寝ようとしている。

「相も変わらず酒に弱いのが。ふたりとも。」

こちらの芝居がかった口調の大男は水無月みなつき 辰虎たつとらだ、こちらも違ったスカウトが絶えない。まともなスカウトではないが……。二人とは違い親がやっている飲料メーカーの社員をやっている。と言っても毎日重役出勤だが……。三人の頭をやることが多く自然と人が集まる魅力もある人物である。

「まあまあ、今日はお開きにしようか。もう三時を回ったしね。」

「しかたがないかの。詮無いことだが明日があるからな。」

「す……す……」

「北斗も寝てるし……。ほれ。毛布だ。どうせ泊まるんだろ？」

「無論だ。毛布はありがたい。」

三人が布団に丸まって寝始める。この狭い部屋に三人の男（一人は巨大男）が寝れば苦しくて熟睡はできないはずだがこの三人は気が読めるといふか、なんとというか。うまく動きあつて熟睡するという無駄な技術を習得しているため問題はない。

「さて……消すぞ。」

座っても手を伸ばしは電球を消せる辰虎がスイッチを消して暗くする。そのまますぐに眠気が出て寝始める三人。これから始まる楽しく悲しく面白く辛い経験が始まるうとは分かる人はいない。いるとすれば原因をつくる神々だけだろう。

「……すか……すか……」

この三人の人間にも分かるはずがなかった。今は寝るのに精一杯なのだから……

## プロローグ（後書き）

かなり改正して・・・というより別物に近くにして書き始めます。  
遅くとも二日に一回更新できるようにします。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9701w/>

---

神々の息抜き大会【大改修】

2011年10月12日06時02分発行